

8 山口県オリジナルかんきつの品種特性表

品種系統名	原産地及び来歴	果実の特性	樹の特性	栽培上の注意事項	収穫期及び可食期
せとみ	山口県大島柑きつ試験場 清見× 吉浦ポンカン 1981年交配 2004年品種登録	果実重は170～200g 濃橙色、やや粗、剥皮は容易 イクラ様の独特な歯触りほぼ無核であるが、他品種の花粉で種子が混入 糖度13～15% 酸1.0%	結実前の樹勢はやや強いが、結実後は中庸 樹姿は直立性と開張性の中間 葉縁には軽いウェーブが認められる。	寒風が当たらない場所や冷気が停滞しない場所に栽植する。 水田転換園にも適する。 乾燥園では夏秋期の灌水が必要	収穫期 2月上旬～中旬 可食期 3月上～4月上旬
南津海	山口県大島郡の農家が育成 カラマンダリン×吉浦ポンカンの珠心胚実生	果実重は125～150g 果皮は滑らかで赤橙色、剥皮は容易 じょうのう膜やや軟、食味は良好であるが、他の中晩柑の近くでは種子が多くなる。 完着期は12月下～1月中 糖度13～15%、酸1.1%	樹勢は強く節間が長い、棘はほとんど無い	寒風が当たらない場所や冷気の停滞しない場所に栽植する。 かいよう病に弱いため、防風対策、防除に注意 ハウスやネット栽培等の防鳥対策が必要	収穫期 露地 4月下～5月上 ハウス 3月下～4月上 可食期 露地 5月上～6月上 ハウス 4月中～6月上
南津海 シードレス	山口県柑きつ振興センター 軟X線を照射して無核系統を育成選抜 2013年品種登録	種子数を除く、果実特性や樹体特性は南津海とほぼ同様 雌性不稔性と雄性不稔性の両方を有するため、混植による種子の混入や他品種への種子の混入はほとんど無い。		寒風が当たらない場所や冷気の停滞しない場所に栽植する。 かいよう病に弱いため、防風対策、防除に注意 ハウスやネット栽培等の防鳥対策が必要	南津海と同様